

## 養父市 定例記者会見

日時：令和元年8月26日 午前10時00分から

場所：養父市役所 2階 第1会議室

### 1 発表事項

資料番号	発表事項	発表者	開催日
1	「第26回公募展木彫フォークアートおおや」関連企画の実施について	大屋地域局	
2	「公立八鹿病院を応援する会」設立10周年記念事業の開催について	保険医療課	
3			
4			
5			

### 2 配布資料

資料番号	内容	配布元	開催日
1	養父市防災訓練(一斉避難訓練)の実施について	防災安全課	9月1日
2	「コウノトリ育む田んぼ」認定交付式の開催	農林振興課	8月29日
3	やぶ暮らし交流会の開催について	やぶぐらし課	9月29日
4	外国出身者と語る会の開催について	人権・協働課	9月1日
5	「但農給食の日」実施について～命をつなぎ、絆をつむぐ～	学校給食センター	9月4日

養父市記者発表資料（発表・資料配布）

養父市記者発表資料（発表・資料配布）			資料番号
発表日	担当部課（室）名	電話（内線）	発表者職氏名 （担当者職氏名）
8月26日（月）	市民生活部大屋地域局	079-669-0120	大屋地域局長 向 秀樹 （主事 岩見 ちはる）
【報道解禁】新聞： 月 日（ ）朝刊 テレビ： 月 日（ ）時			
※記載がない場合は、発表時をもって報道解禁とします。			

「第26回公募展木彫フォークアートおおや」関連企画の実施について

木彫フォークアートおおや実行委員会は、第26回公募展期間中に関係機関と連携し、下記の企画を実施します。

1 「木彫めぐる1dayパス」について

(1) 概要

全但バス株式会社は、木彫フォークアートおおやの開催期間中に市内で使用できる一日乗車券を販売し、木彫フォークアートと養父市の魅力にふれていただく機会を創出します。

(2) 販売期間 令和元年9月20日（金）～10月6日（日）

(3) 利用可能区間 養父市内の全但バス路線

※高速バス、コミュニティバスを除く。市外へ乗り越しの場合は別途運賃が必要。

(4) 販売箇所 全但バス八鹿営業所、養父市立おおやホール

(5) 販売価格 大人1,100円、小学生以下550円（税込）

\*数量限定で「木彫めぐる1dayパス（木彫版）」を販売します。

（木彫版チケットは、売り切れ次第販売を終了します）

(6) 購入特典 木彫展示館入館料割引

(7) お問い合わせ 全但バス株式会社 乗合事業課 電話 079-662-2133

2 「木彫めぐるMAPスタンプラリー」について

(1) 概要

公募展会場であるおおやホールなどに設置しているスタンプを5つ以上集めると、もれなく全但バスグッズまたは木彫フォークアートグッズをプレゼントします。また、大屋木彫同好会が制作した木彫作品を抽選でプレゼントします。

(2) 開催期間 令和元年9月20日（金）～10月6日（日）

(3) スタンプ設置箇所

おおやホール、おおやアート村BIG LABO、木彫展示館、大屋町内のバス停12箇所

(4) スタンプラリー台紙設置及び景品引換所

おおやホール、おおやアート村BIG LABO、木彫展示館、全但バス八鹿営業所

(5) お問い合わせ 養父市役所大屋地域局 電話 079-669-0120

### 3 養父市文化交流施設木彫展示館「昨年入賞者作品展」について

#### (1) 概要

平成20年から実施している企画展「昨年入賞者作品展」は、前年に開催された公募展の入賞者の方にご協力いただき、作品の展示販売を行うものです。

(2) 開催期間 令和元年9月20日(金)～10月6日(日) 9時～17時

※最終入場 16時30分、期間中無休

(3) 会場 養父市文化交流施設 木彫展示館(養父市大屋町大杉826)

(4) 内容 第25回公募展入賞者作品の展示販売

(5) お問い合わせ 養父市文化交流施設 木彫展示館 電話 079-663-8070

### 4 おおやアート村 BIG LABO「木彫猫ねこ展」について

(1) 開催期間 令和元年9月20日(金)～令和2年2月11日(火) 9時～17時

※最終入場 16時30分、公募展期間外は水曜日休館日

(2) 会場 おおやアート村 BIG LABO 展示場(養父市大屋町加保7)

(3) 内容 猫をモチーフにした公募展木彫フォークアートおおやの出展作の展示

(4) お問い合わせ おおやアート村 BIG LABO 電話 079-669-2449

### 5 第26回公募展スケジュールについて

#### (1) 審査講評会

①日 時 令和元年9月14日(土) 15時～16時(予定)

②審査員 大森 一樹(映画監督・大阪芸術大学映像学科長)

岸野 裕人(元姫路市立美術館長)

マルテル坂本 牧子(兵庫陶芸美術館学芸員)

広瀬 栄(養父市長)

③内容 審査結果の発表、審査員による講評

④その他 同日実施する審査会は非公開ですが、講評会についてはマスコミ及び一般の方もご入場いただけます。

#### (2) 展覧会

①会 期 令和元年9月20日(金)～令和元年10月6日(日) 9時～17時

※期間中無休

②入場料 無料

#### (3) 授賞式

①日 時 令和元年9月28日(土) 11時(予定)

②内 容 入賞者の表彰、大衆賞の発表

#### (4) 運営ボランティアの募集について

展覧会をお手伝いいただけるボランティアスタッフを募集しています。業務内容は展覧会の受付、作品の監視等です。報酬・交通費の支給はありませんが、第26回公募展の作品集を1冊贈呈します。

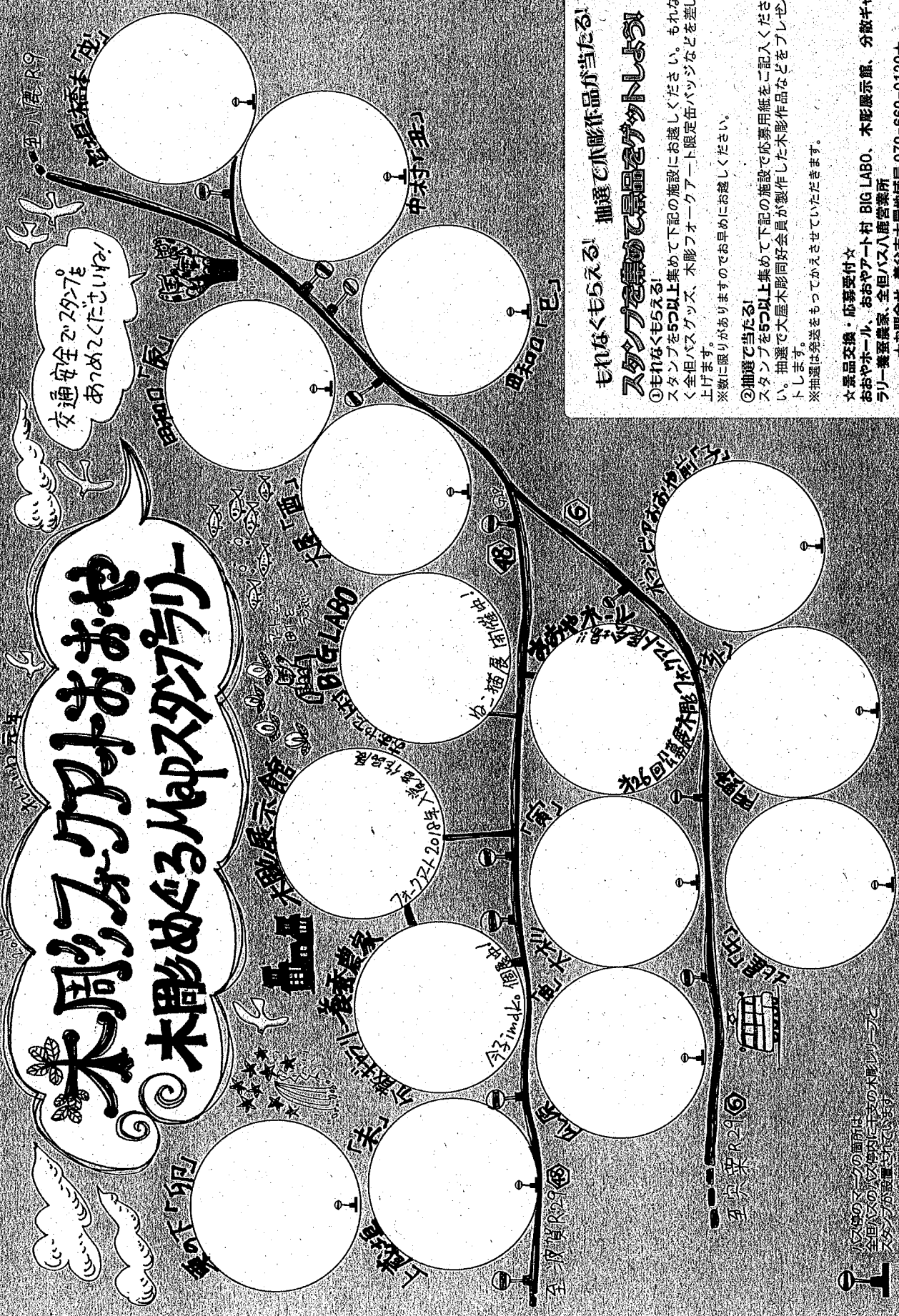
### 6 お問い合わせ

養父市役所大屋地域局内 木彫フォークアートおおや事務局(担当:岩見)

電話 079-669-0120

# 木彫りマルアホあおせ 木彫めるMapスタンプラリー

交通安全でスタンプ  
あつめてください!



① どれももらえる! 抽選で木彫り作品が当たる!

スタンプを集めて景品をゲットしよう!

② もれなくもらえる!

スタンプを5つ以上集めて下記の施設にお越しください。もれなく全但バスグッズ、木彫りフォークアート限定缶バッジなどを差し上げます。

※抽選に限りがありますのでお早めにお越しください。

③ 抽選で当たる!

スタンプを5つ以上集めて下記の施設で応募用紙をご記入ください。抽選で大屋木彫り愛好会が製作した木彫り作品などをプレゼントします。

※抽選は発送をもってかえさせていただきます。

★ 景品交換・応募受付★

おおやホール、おおやアート村 BIG LABO、木彫り展示館、分岐キラー養蚕館、全但バス八幡営業所

★ お問い合わせ 養父市大屋地域局 079-669-0120★

大屋のマルアホの場所は、  
全但バスが乗り入れ可能な大屋レインボー  
スタンプが設置されています。

# 木彫展示館

## 木彫フォークアートおおや

# 昨年入賞者作品展

令和元年9月20日(金)～10月5日(日)



仲間智登志 (北海道)

『おおやの森の物語りより 第1章創世記』

第26回公募展開催にあわせて、  
昨年開催された第25回公募展木彫フォークアートおおやにて  
入賞された方々の作品の展示販売を行います。  
皆様のご来場を心よりお待ちしております。



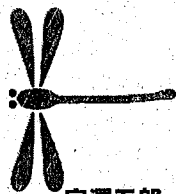
大仁田龍一郎 (栃木県)  
『龍の涼』



早川政春 (愛知県)  
『かぼちゃのスカート』



長沼克己 (岐阜県)  
『ふくろのねずみ』



宮澤五郎 (静岡県)  
『スーパーヒーロー登場』

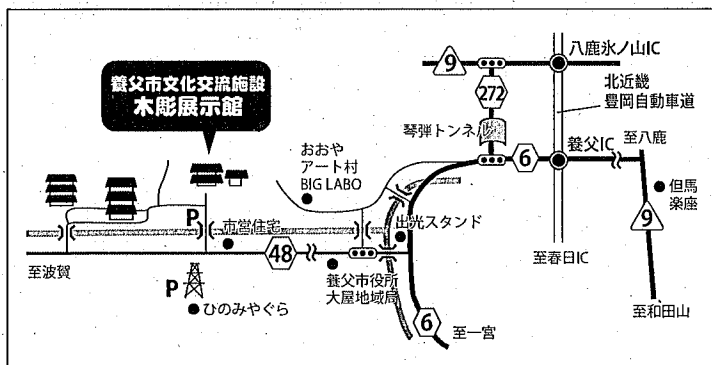


上田伊蔵 (大阪府)  
『野良帰リ』

※作家は変更になる場合があります。  
※写真は販売作品ではありません。

木彫作品の  
展示販売を行います

関西文化の日プラス  
参加施設  
9/23(月・祝)  
入場無料



### 養父市文化交流施設 木彫展示館

築120余年の診療所だった民家を再生させた空間に、木彫フォークアートの作品の数々を展示した、全国で唯一の展示館です。館内には全国公募展「木彫フォークアートおおや」のグランプリ作品などを常設展示しています。ノミや彫刻刀を使い、木の塊から削り出すことでようやく生まれる作品の魅力を感じてください。

〒667-0314 兵庫県養父市大屋町大杉 826  
TEL/079-663-8070

入館料 大人 200円・小学生以下 100円  
開館時間 9:00～17:00 (最終入場 16:30)

休館日 月・火曜日 (作品展開催期間中は無休)



養父市記者発表資料（発表・資料配布）

資料番号

発表日	担当部課（室）名	電話（内線）	発表者職氏名 （担当者職氏名）
8月26日（月）	健康福祉部保険医療課	662-3165	課長 余根田一明
<b>【報道解禁】新聞：</b> 月 日（ ）朝刊 <b>テレビ・ネット：</b> 月 日（ ）時 ※記載がない場合は、発表時をもって報道解禁とします。			

「公立八鹿病院を応援する会」設立10周年記念事業の開催について

1 概要

公立八鹿病院を応援する会が、設立10周年記念事業として、公立八鹿病院で働いているスタッフ及び今後新しく赴任していただく医師または医療スタッフの方々のための「ウェルカムムービー」を公立八鹿病院に贈呈します。

2 と き

令和元年8月29日（木） 午後4時から（30分程度）

3 場 所

公立八鹿病院 講堂

4 内 容

- (1) 「ウェルカムムービー」の視聴
- (2) 「ウェルカムムービー」の贈呈

5 問い合わせ

株式会社ピーナッツ内

公立八鹿病院を応援する会事務局

TEL 079-662-8331 FAX 079-662-8332

各位

2009年8月12日

## 「公立八鹿病院を応援する会」

### 設立趣意書

地方自治体が経営を行っている病院の多くは、医療現場と向き合うなかで、将来における地域医療サービスの維持について様々な課題を投げかけている。特に医療を行う経営資源の確保については、我々の地方において大きな課題である。今、我々市民に求められることは、それら問題の解決を行政に頼るばかりではなく、医療サービスの受益者である市民も真剣に向き合い、市民ができることを模索し、継続的に取り組みを行っていくことである。又市民は医療サービスの提供を、無条件に与えられるものであるといった今までの認識を変え、市民がそれを維持していくものであると意識の改革を行うべきである。その為には、市民が医療における現状を医師、病院関係者と交流を深め、医療現場をよく理解する事、又我々市民が医療サービスを受ける場合でも、医師関係者のモチベーションを維持拡大出来るような態度で接していくことが必要である。それら趣旨の元、今ここに「公立八鹿病院を応援する会」を設立し、活動を開始する。

### 【ス ロ ー ガ ン】

「公立八鹿病院を市民の意識で支えよう」

### 【活 動 方 針】

1. 八鹿病院医師、職員と交流をはかり、八鹿病院の医療現場を良く知る
1. 医療サービスを市民の意識改革で維持貢献する

### 【活 動 内 容】

1. 職員との意識交流を計る事業
1. 医療の現状に対する調査研究
1. 八鹿病院に対して応援を行う事業
1. その他

「公立八鹿病院を応援する会」

会長 守本竜司

# 公立八鹿病院を 応援する会だより

第8号

発行

兵庫県養父市八鹿町八鹿1097番地8  
株式会社ピーナッツ内

公立八鹿病院を応援する会事務局

TEL.079-662-8331

FAX.079-662-8332



記念事業

公立八鹿病院を応援する会 Presents  
ウェルカムムービー制作

応援  
メッセージ



事業委員会  
委員長  
三木 勝彦

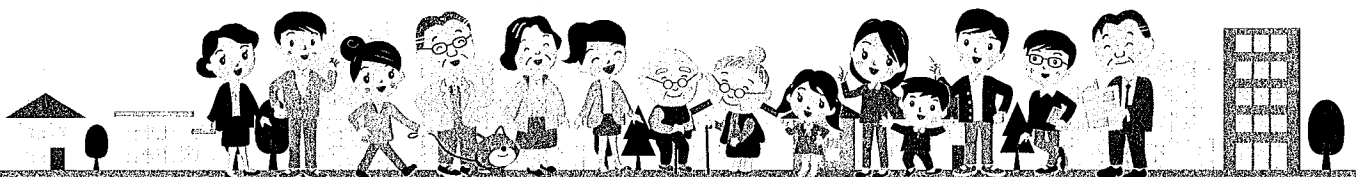


## 記念事業趣旨説明

会員の皆様には日頃から会の運営に絶大なご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。  
 当会では今年度の応援事業として、「ウェルカムムービー」と称した動画の制作に取り組み、こ  
 にお披露目させていただきます。このムービーは、公立八鹿病院で働くス  
 タッフの皆様の日頃の感謝をお伝えすると共に、今後新しく赴任される  
 であろう医師や医療スタッフの方々が、当地に安心して着任され、楽しく  
 暮らして頂きたいという願いも込めています。ムービーには会を代表し  
 て数名の会員に出演して頂いており“ほのぼの”とした温かい作品となつ  
 ております。どうぞご覧ください。



ウェルカムムービーは  
こちらから



健康管理は自己管理から



# 設立10年のあゆみ

平成20年 発起人15名が集う  
 平成21年 8月12日 「公立八鹿病院を応援する会」設立総会  
 (定款・役員・組織等決議)  
 8月28日 公立八鹿病院を応援する会 設立記者発表

## 平成22年度事業

- 他団体との交流参画
  - ・但馬医療・地域ケアを考えるフォーラム
  - ・ローカルマニフェスト市民点検会議
- 宮野院長公式訪問
- 応援旗贈呈事業
- 会員拡大事業 会員数110名達成
- 公立八鹿病院を応援する会だより創刊  
(養父市内1万部新聞折り込み)



▶ 創刊号

## 平成23年度事業

- 「健康管理は自己管理から  
かかりつけ医を持ちましょう」ポスター作成・配布  
(500枚)
- 宮野院長公式訪問 役員6名参加
- チームアルバトロス ロゴ作成・寄贈



▶ ポスター

▲ 平成21年8月29日(毎日新聞)

## 平成24年度事業

- 公立八鹿病院を応援する会だより  
第2号発刊

## 平成25年度事業

- 谷風院長公式訪問 役員6名参加
- 応援旗贈呈事業
- 公立八鹿病院を応援する会だより  
第3号発刊



▲ 谷風院長に応援旗を贈呈



▲ 公式訪問(宮野院長・関係者・役員6名)

## 平成26年度事業

- 対立を報じられた医師との面談
- 養父市 市長に要望書提出
- 公立八鹿病院を応援する会だより  
第4号発刊



▲ 対立を報じられた医師との面談

## 平成27年度事業

- 会員拡大事業 会員数150名達成
- 公立八鹿病院を応援する会だより  
第5号発刊



### 要望書

養父市長 広瀬 栄 様

爽秋の候、貴職におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
 平素は「公立八鹿病院を応援する会」の運営につきまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、先日10月2日付け神戸新聞の公立八鹿病院に関する「管理者と医師らに亀裂」と題され報じられた記事につきまして、今も市民の間で様々な議論が絶えません。  
 伴い当会役員は去る10月18日土曜日夜、当会が準備した会場にて関係する医師ら数名と約2時間の面談を行いました。  
 内容は神戸新聞報道に関するもので、実情を市民に知ってほしいという医師からの強い要望により実現させたものです。  
 この面談について当会は定款との適合性も確認し、会談は中立的立場で行い、「病院への提言は行わない」といった当会定める基本的姿勢のもと行いました。

会談は医師達により準備されたこれまでの経緯が記された資料を基に進められ、こちらからの質問も交えながら事細かく行われました。  
 説明された八鹿病院が置かれている勤務医師達の進退問題にまで至った現状に対して、当会として、市民として、今後の八鹿病院の行く末に大きな不安を感じた次第です。  
 そして公立八鹿病院の関係機関には、この問題を結果として重大な問題には至らせないよう柔軟な今後の対応を要望するところです。  
 市長におかれましてはこの件について我々以上に実情をご理解されているとお察しております。  
 どうか大変遺憾ではございますが、我々市民の大きな心配を早急に解決して頂きますよう心からお願い申し上げます。

公立八鹿病院を応援する会

会長 守本 竜司

平成26年10月21日

### ▲ 要望書

## 平成28年度事業



▲地域医療の未来を考える懇談会

- 地域医療の未来を考える座談会  
日光診療所 院長 森田龍親  
公立八鹿病院理事 岸田 彰  
役員 9名参加
- 公立八鹿病院を応援する会だより  
第6号発刊



## 平成29年度事業



▲応援旗贈呈事業(後藤院長)

- 後藤院長公式訪問 役員・会員17名
- 応援旗贈呈事業
- 若手医師及び医療スタッフとの交流会  
役員・会員 18名
- 公立八鹿病院を応援する会だより  
第7号発刊

## 平成30年度事業



▲DVDパッケージ

- 会員拡大事業 会員数200名達成
- 公立八鹿病院へウェルカムムービー制作  
視聴会及び贈呈式
- 公立八鹿病院を応援する会だより  
第8号発刊



▲応援パネル・応援メッセージDVD  
医療用スクラブ贈呈

※敬称略

## 当会設立10周年 会長挨拶 会長 守本 竜司



平成21年8月12日、15名の発起人達が集い当会の設立総会が行われ、「公立八鹿病院を応援する会 定款」が可決承認されました。当会が産声を上げた瞬間であり、その定款の定めにより会長を拝命した私にとっても、新たな責任と会への献身を誓う瞬間でもありました。

そして、元号も変わった令和元年8月12日で当会は設立から丸10年を迎え、11年目が始まりました。設立時15名だった会員は、運動を重ね100名へ、150名へ、そして今年200余名へと拡大され、当会の認知度、期待度、貢献度も大きくなったと考えます。そして、役員一同改めて自らの責任を再確認する意味でも、今後の更なる会の発展を誓い合う次第です。

さて、当会に御賛同頂いている200余名の会員に対しましては改めまして心から感謝を申し上げながら、会員数こそが当会存在意義を立証している事、そして同時に応援のパワーそのものであるという事をあわせて申し上げたいと思います。また、会員にはそれぞれ地域でリーダーシップを発揮され活躍されている皆様も多くおられます。商工、観光等団体の会長をはじめ、地域若手リーダーを代表する商工会青年部や青年会議所における、近年の歴代代表者全員に賛同入会頂いております。そんな会員に対して、これからも常にその賛同に応えられるよう我々役員も定款を遵守し、しっかりと会運営を行っていく所存です。また、後になりましたが多忙なお立場でありながら当会を手弁当でお世話頂いている10名の役員及び4名の監事、顧問団に対しましても心から感謝を申し上げる次第です。

この度10年の歩みとして紹介された事業を私なりに振り返りますと、僣越ながら当会方針(提言は行わず、応援に徹する)に沿って応援団として事業を貫いてこられたと誇りに感じます。今年はその思いを形にせんと、公立八鹿病院の応援ムービーを制作いたしました。それを公立八鹿病院様にお贈りし、先生をはじめ職員の皆様に応援メッセージを映像でお届けしたいと考えております。さらにその映像は、新たに赴任されるであろう先生方々に対する強力な歓迎メッセージにもなればと期待する次第です。

10年を振り返りましたが、まだまだ当会の役割と可能性はこの地域に必要とされ、運動は拡大されていくと自負しております。その為にも、会員の皆様にはこれまで通りの当会へのご理解ご協力をお願い申し上げます。これからもよろしく願い申し上げます。

# 会員拡大事業

本年は、会員拡大として会員数200名を目標に掲げました。  
令和元年6月20日には会員数200名を達成しました。

## 委員長挨拶

会員委員会委員長 松上 淳宏

当委員会では主に、会員の拡大と会員の名簿管理の業務を行っております。この度、皆様のお力添えのもと会員200名を達成できましたこと、心より御礼申し上げます。今後、このスケールメリットを生かし地域医療の発展に貢献していきたいと考え、令和元年度をスタート致します。



## 公立八鹿病院を応援する会会員

- |       |        |        |       |       |        |        |
|-------|--------|--------|-------|-------|--------|--------|
| 守本 竜司 | 一ノ本達己  | 大林 賢一  | 竹藤 誠  | 世登 道德 | 三木 勝彦  | 宮谷 智彦  |
| 井上 滝秀 | 藤本 慎   | 藤田 孝夫  | 三方 達也 | 米田 至  | 松田 一良  | 中野八重美  |
| 中島 恵子 | 小松原貴美子 | 澤瀉 洋子  | 中井 光男 | 谷 哲夫  | 佐藤 秀樹  | 藤原 大輔  |
| 岩田 志郎 | 柳澤 義春  | 守本 吉伸  | 守本ふみえ | 田村 郷子 | 田村 絹子  | 小瀧 正巳  |
| 西谷 信弥 | 三浦 正純  | 一ノ本京子  | 小林 幸弘 | 木谷 俊基 | 正垣 努   | 小谷 勇   |
| 藤田 智子 | 大林 桂子  | 大林 良子  | 山本 直行 | 魚本 崇  | 野崎 未知  | 山崎 淳一  |
| 上垣 元彦 | 沖田 好弘  | 白山美佐子  | 村上 進一 | 松田 伸幸 | 宮谷 住恵  | 石倉 喜生  |
| 和田 洋一 | 日下部武志  | 内田 昭一  | 三島さおり | 田村 敏雄 | 竹藤 由美  | 竹藤 房夫  |
| 竹藤 勝子 | 竹藤 千恵  | 河邊 聖喜雄 | 向井 和隆 | 長 利行  | 守本 誠   | 岡田 茂   |
| 寺田 幸造 | 松崎 勝広  | 中島 良頭  | 水田 和人 | 三木 麻琴 | 小田垣幹朗  | 石原 和之  |
| 夜久 正人 | 西本 昭彦  | 西本 和晃  | 野崎 剛  | 坪内 博樹 | 松原 理   | 小林 忠男  |
| 前川由紀子 | 仙賀 俊輝  | 上垣 修   | 田路 博  | 小西 尚憲 | 高橋 直也  | 児島 千秋  |
| 松上 淳宏 | 佐藤 圭一  | 世登 清晴  | 藤本 淳  | 小野山慎二 | 松田 理明  | 堀谷 昌平  |
| 松田 照子 | 松田 一恵  | 中野 友浩  | 衣川 浩二 | 中島 和昭 | 田中香緒利  | 宮野 陽介  |
| 宮野ゆかり | 谷垣 満   | 南光 厚余  | 森田 龍親 | 岸田 彰  | 南光 祐人  | 古家 大介  |
| 中尾 新  | 島垣 光   | 島垣 縁   | 北垣 孝文 | 赤花 利明 | 古屋 陽平  | 古屋 美枝  |
| 堀谷 俊彦 | 田中 裕一  | 川本 通順  | 柰保 友規 | 山本 洋介 | 佐々木秀行  | 山下 裕介  |
| 早田 伸幸 | 松上 正子  | 坪井 良尚  | 坪井 千歳 | 山本 晃弘 | 田中翔太郎  | 田淵 那国  |
| 寺川 佳宏 | 日下部裕貴  | 金川 恭平  | 片岡 實  | 池田まり子 | 小林 学   | 谷岡 光   |
| 藤森 博  | 大友 進   | 前田 華子  | 高柴 元樹 | 三田 文雄 | 林 伸雄   | 民野 浩司  |
| 中野 雅人 | 田中 正司  | 堀谷 武弘  | 池田 光佑 | 中島登美子 | 木村 麻紀  | 政次 悟   |
| 藤原 芳巳 | 足立 隆啓  | 西村 高広  | 早田 一昭 | 塩見 浩二 | 戸田 裕二  | 中尾 幸晴  |
| 川口 秀昭 | 小柴 龍太  | 平山 貴彦  | 小谷 康則 | 藤原千恵子 | 岩佐 清昭  | 長村小夜子  |
| 田中みのり | 濱田 直樹  | 長村 和枝  | 杉本 光生 | 黒厚子富義 | 田口 純子  | 大島 健二  |
| 一ノ本智毅 | 寺元 愛深  | 長村 晴美  | 角野 桂子 | 藤原 光子 | 岩崎 純   | 山根 明美  |
| 田中 峻平 | 山本 雅己  | 山本 一代  | 栃下 拓樹 | 羽瀧 久蔵 | 藤原 忠史  | 井上 明裕也 |
| 片岡 浩志 | 門田 浩   | 森井 謙太  | 田村 美香 | 羽瀧 朋子 | 西田 裕一  | 大垣 智美  |
| 上田 達也 | 安福 政人  | 栃尾 秀作  | 米本 膳人 | 中野 豊大 | 田村 竜二  | 田村 和也  |
| 藤田 政登 | 森田 龍音  | 田畑 和真  | 珍坂 聡  | 松井 博昭 | (201名) |        |

## 公立八鹿病院を応援する会



会員限定！  
フェイスブック  
グループ  
参加者募集！！

会員同士の交流や情報共有、事業のお知らせなどを目的として  
当会のフェイスブックグループを設置しました。  
当会会員でフェイスブックのアカウントをお持ちの方は、是非  
ご参加ください。おまちしております。♡(\*´▽`\*)

<https://www.facebook.com/groups/484639255064266/>

- ①  Facebook で検索
- ② グループに参加申請する。
- ③ 当会会員であれば承認され、参加完了となります。

養父市記者発表資料（発表・資料配布）

養父市記者発表資料（発表・資料配布）			資料番号
発表日	担当部課（室）名	電話（内線）	発表者職氏名 （担当者職氏名）
8月26日（月）	危機管理室 防災安全課	079-662-2899	防災安全課長 津崎宏行 （主幹 村崎利和）
【報道解禁】新聞： 月 日（ ）朝刊 テレビ・ネット： 月 日（ ）時			
※記載がない場合は、発表時をもって報道解禁とします。			

養父市防災訓練（一斉避難訓練）の実施について

1. 目的

地震、風水害、火災など有事の際、全市民が安全にすばやく避難できることが大切である。区民、自主防災組織、民生委員・児童委員、福祉委員、消防団、社会福祉協議会等が連携を図りながら避難訓練を実施することで地域コミュニティの醸成による地域防災力の向上を目指します。

2. 日時

令和元年9月1日（日） 午前10時～

3. 参加

区長会、自主防災組織、民生委員・児童委員（民生・児童協力委員）、養父市消防団、やぶ防災会、養父市社会福祉協議会、南但消防本部等

※この一斉避難訓練では、9/1（統一日）以外に実施する区もあります。

4. 訓練内容

各区で災害時における避難行動を、共通訓練と地域の特性等に応じた様々な災害を想定し訓練を実施します。訓練の開始は、「防災行政告知システム」と「緊急速報メール」により周知します。

また、市内4か所にモデルとなる訓練地区を設定し、より実践的な訓練を実施するよう計画しています。八鹿地区では、宿南校区自治協議会が中心となり、8区合同の訓練を実施。各区での訓練を終えたあと、宿南小学校に移動（避難）する。参加者らを5班に分け、車いす訓練、担架作成搬送訓練、段ボールベット体験など5種目のうち複数の訓練体験をしてもらいます。

（主な内容）

八鹿：宿南校区（8区）＝安全講話、避難誘導、搬送訓練、安否確認、心肺蘇生、炊き出し

養父：長野区（1区）＝避難誘導、搬送訓練、安否確認、炊き出し、合同放水訓練

大屋：宮本区（1区）＝避難誘導、搬送訓練、安否確認、応急手当、炊き出し

関宮：大谷区（1区）＝避難誘導、搬送訓練、安否確認、情報伝達訓練

5. 昨年実績

160区中、146区 11,710人（内消防団員799人）

養父市記者発表資料（発表・資料配布）			資料番号
発表日	担当部課（室）名	電話（内線）	発表者職氏名 （担当者職氏名）
8月26日（月）	産業環境部 農林振興課	079-664-1451 （123）	次長兼課長 世登 英明 （主幹 安達 一郎）
【報道解禁】新聞： 月 日（ ）朝刊 テレビ・ネット： 月 日（ ）時 ※記載がない場合は、発表時をもって報道解禁とします。			

「令和元年度「コウノトリ育む田んぼ」認定証交付式」の開催について

このたび、養父市では5例目となる米地地域が新たに「コウノトリ育む田んぼ」に認定されることとなり、下記のとおり認定証交付式が開催されますので、お知らせいたします。

平成21年度に創設された「コウノトリ育む田んぼ」認定事業は、コウノトリ育む農法（安全な農産物と生きものを同時に育む農法）を但馬全域に拡大するうえで、一定の役割を果たしています。

認定証交付式は、生産者の不断の努力や取組を称え、認定証を交付することで、地域ぐるみの取組を喚起し、コウノトリをはじめ、多様な生きものを育む環境創造型農業推進の地域における牽引役を果たしてもらうことを目的として開催されます。

記

- 1 主催 兵庫県但馬県民局（豊岡農林水産振興事務所）
- 3 日時 令和元年8月29日（木） 午前9時30分～午前10時
- 4 場所 兵庫県豊岡総合庁舎 福利センター 多目的ルーム  
（豊岡市幸町7-11）
- 5 参集者
  - ・新規認定地域の代表者（豊岡市 奥矢根地域、養父市 米地地域）
  - ・新規認定関係市町（豊岡市、養父市）
  - ・たじま農業協同組合
  - ・兵庫県但馬県民局（局長、豊岡・朝来農林（水産）振興事務所、豊岡・朝来農業改良普及センター、豊岡・朝来土地改良センター）
- 6 内容
  - ・9：30 開会
  - ・9：30～9：35 あいさつ
  - ・9：35～9：45 実施経過等及び新規認定地域の概要の説明  
（机移動）
  - ・9：50～10：00 認定証の交付、写真撮影
- 7 問合せ先 豊岡農林水産振興事務所 農政振興課  
電話：（0796）26-3697

養父市 記者発表資料（発表・資料配布）

発表日	担当部課（室）名	電話（内線）	発表者職氏名 （担当者職氏名）
8月26日（月）	やぶぐらし課	079-662-3172	課長 上村 圭 （主幹 片芝 誠）
【報道解禁】新聞： 月 日（ ）朝刊 テレビ・ネット： 月 日（ ）時 ※記載がない場合は、発表時をもって報道解禁とします。			

やぶ暮らし交流会の開催について

養父市への移住や交流に興味をお持ちの方を対象に、下記のとおり交流会を開催します。  
今回、初めて兵庫県ふるさと応援交流センターと連携し、市内でチャレンジする協力隊との交流をはじめ、田舎での生活や暮らしの相談、家庭菜園セミナーなどを行う交流会を開くことにより、田舎暮らしを楽しむ知恵を学びます。

主 催： 養父市

一般社団法人田舎暮らし倶楽部

共 催： 兵庫県ふるさと応援交流センター

日 時： 令和元年9月29日（日）13時00分～17時00分

場 所： 元町マルシェ交流サロン（兵庫県神戸市中央区元町通5丁目8-3）

内 容： (1) 地域おこし協力隊員の募集セミナー、交流会

・隊員になるための相談会！あなたのチカラを養父市で！

(2) 田舎での生活や暮らしの相談会

・相談員、先輩移住者が個別相談に応じます！

(3) 家庭菜園ワークショップの開催（要申込み）

・有機野菜の“コツ”を学ぶ簡単なワークショップを開催！

・養父市在住の先輩農家との交流会！

参加費： 家庭菜園ワークショップ200円、その他は無料

その他： 家庭菜園ワークショップについては、事前申込みが必要となります。

詳しくは、下記までお問い合わせください。

問い合わせ・申込み先

養父市役所やぶぐらし課

〒667-8651 兵庫県養父市八鹿町八鹿 1675 番地

電話：079-662-3172（直通） 担当：片芝、富田

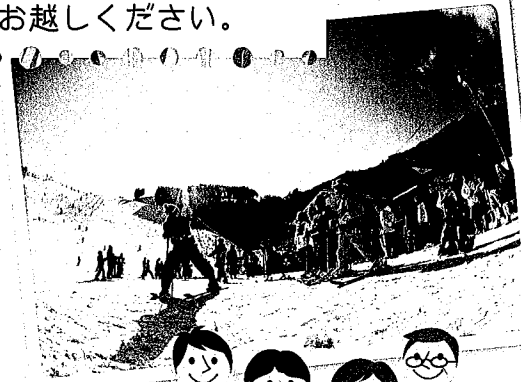
027 やぶ医者のふるさと・養父市  
兵庫県



# やぶ暮らし交流会

@元町マルシェ交流サロン

田舎暮らし・移住の相談に加えて、農家が教える家庭菜園講座や、地域おこし協力隊説明会を開催します。ぜひお気軽にお越しください。



令和元年

日時 **9月29日** [13:00~17:00]

場所 **元町マルシェ交流サロン** (兵庫県神戸市中央区元町通5丁目8-3)

**田舎暮らし相談会**

相談員と市役所担当者が個別に相談に応じます。

**地域おこし協力隊説明会**

隊員になるための相談会！あなたのチカラを養父市で！

**家庭菜園ワークショップ** (要申込み)

養父市在住の農家から有機野菜づくりの“コツ”を学ぶ簡単なワークショップです。



参加費 **200円**

※準備の都合上、事前に申し込みをお願いします。

問合せ・申込み

養父市役所やぶぐらし課 (兵庫県養父市八鹿町八鹿1675番地)

☎ 079-662-3172 / メール yabugurashi@city.yabu.lg.jp

主催：養父市役所やぶぐらし課 一般社団法人田舎暮らし倶楽部

共催：ふるさと応援交流センター

養父市記者発表資料（資料配布）			資料番号
発表日	担当部課（室）名	電話（内線）	発表者職氏名 （担当者職氏名）
8月26日（月）	市民生活部 人権・協働課	079-662-7601 （237）	人権・協働課長 石田 恵美 （人権推進員 武田 俊彦）
【報道解禁】新聞： 月 日（ ）朝刊 テレビ・ネット： 月 日（ ）時 ※記載がない場合は、発表時をもって報道解禁とします。			

### 外国出身者と語る会の開催について

- 1 目的
 

養父市では、一人一人が人権に関する正しい理解や認識を深め、お互いの人権を尊重できる「共生社会」の実現をめざしています。

そのため、人権文化の創造に向け、様々な人権課題を学ぶ場として「人権学びステーション」を開設し、そこで学び得た知識や技能を地域に発信していきます。全7回開催予定。

第3回講座は、「外国出身者と語る会」とし、養父市人権教育推進協議会八鹿支部との合同開催です。外国出身者の方と交流し、ことばや文化、生活習慣の違いを知り、お互いの理解を深め、誰もが住みよいまちとなるよう語り合う機会とします。
- 2 日時
 

令和元年9月1日（日）午後2時～午後4時
- 3 会場
 

養父市立みふね会館 大会議室
- 4 内容
 

①全体会  
講師から自己紹介を兼ねた出身国についての話を聞く

②ワークショップ  
小グループに分かれて講師を中心として文化の違いなどについて語り合う。

③まとめ（全体会）
- 5 講師
 

山本小春さん（ベトナム出身）  
トレイシー・ワタナベさん（アメリカ出身 八鹿高等学校外国語指導助手）  
エヴァン・ライクさん（アメリカ出身 八鹿青溪中学校外国語指導助手）
- 6 参加料
 

無料
- 7 その他
 

準備の都合上、可能な限り事前の申込みをお願いします。  
（当日のご参加も可能です。）
- 8 問合せ先
 

養父市人権・協働課 電話 079-662-7601  
みふね会館 電話 079-662-5535



## 養父市記者発表資料（発表・資料配布）

養父市記者発表資料（発表・資料配布）			資料番号
発表日	担当部課（室）名	電話（内線）	発表者職氏名 （担当者職氏名）
8月26日（月）	養父市教育委員会 学校給食センター	079-664-1801	学校給食センター所長 井垣信子 （栄養教諭 井口留美）
<b>【報道解禁】新聞： 月 日（ ）朝刊 テレビ・ネット： 月 日（ ） 時</b> ※記載がない場合は、発表時をもって報道解禁とします。			

### 「但農給食の日」実施について ～ 命をつなぎ、絆をつむぐ ～

#### 1 事業概要

兵庫県立但馬農業高等学校（養父市八鹿町高柳 300-1）で生産された農畜産物（野菜、鶏肉（ムネ肉））を使用した給食を市内 13 校（小学校 9 校、中学校 4 校）に、約 1,940 食を提供する。

また、同校 3 年生の生徒が市内の小学校と中学校へ赴き、食材・野菜等にまつわる話をする。訪問先の小学校と中学校では、ランチルーム等で喫食前に 5 分間程度の話をし、その後児童生徒と共に喫食する。

#### 2 趣旨

地元の農業高校で先輩が生産した農畜産物を市内の小中学生が感謝の心をもって味わいながら給食で食べることにより、野菜や鶏からいただいた「いのち」で自分たちの体がつくられていることを認識する。また、世代を超えて小中学生と高校生、保護者等の相互の絆をつむいでいくことで、食育の推進や地産地消の普及及び地元愛の醸成を図ることを目的とする。

- ・献立内容：但農夏野菜チキンカレー

海と畑のサラダ

麦ごはん、牛乳、梨

- ・但馬農業高校からの提供食材

南瓜 たまねぎ 人参 ピーマン 小松菜 鶏ムネ肉

- ・とき：令和元年9月4日（水） 概ね 12時30分～13時15分

- ・ところ：養父市内中学校、但馬農業高校生徒の訪問校（関宮中学校）

#### ◇問い合わせ先◇

養父市学校給食センター 〒667-0114 養父市小城 597-1

電話 079-664-1801